



保護者アンケートによる「学校評価」について(1)

学校長 小木曾敏樹

12月末、保護者の皆様にご回答いただきました学校評価について、紙面及びホームページで公表させていただくとともに、それをいただきましたご意見等に対する回答とさせていただきます。今回は、昨年同様にWebでの回答という形をお願いしましたが、昨年に比べ回答数が少なく、ご意見、コメントについても大変少ないという状況でした。いただきましたご意見は真摯に受け止め、今後に生かしていきたいと思っております。また、多くの方にご回答いただけるよう、評価の方法についても考えていきたいと思っております。

なお、いただきましたご意見について、子どもや地域の皆さんも含め多くの方の目にふれるものですので、掲載にふさわしくないものについては、一部削除もしくは表現を変えて掲載させていただきますので、ご承知おきください。

〇 全体として


- ・全体として「A」が減少、「B」が増加、「A・B」の肯定的な評価はほぼ変化なしという傾向です。
- ・「C」、「D」という否定的評価については、多くは特定の方による評価でした。
- ・記述がない項目が多いため、具体的な回答ができないことをご理解ください。
- ・回答数が少ないため、お一人の評価が、「0.6%」となります。

評価について

A 大変よかった B よかった C あまりよくなかった D よくなかった


昨年度評価との比較

 向上  やや向上  ほぼ同じ  やや低下  低下

1 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、基礎学力の定着に努力している。  A 30.6 B 68.8 C 0.6 D 0.0

・記述なし

◎本年度の全国学力学習状況調査において分かってきたことは、本校児童の家庭学習時間、家庭での読書時間が全国・県平均を下回っていること、新聞を読む機会が少ないことです。これらが基礎学力の形成に重要であると考え、令和6年度に向けて対応策を考えているところです。

2 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、思いやりやコミュニケーション能力の育成に努力している。  A 33.1 B 64.3 C 2.5 D 0.0

・記述なし

◎人権教育、異学年交流、児童会行事、挨拶運動、発表や交流など伝え合う学習活動といった思いやりやコミュニケーション能力の育成には、今後も力を入れていきます。

3 学校は、学校教育目標「賢い子、優しい子、強い子」の具現のため、体力作りや健康増進に努力している。



A 28.7 B 66.9 C 3.2 D 1.3

・記述なし

◎体育の授業では、準備運動に走る運動を取り入れたり、体力づくり週間や南あそびなど児童会主催の行事等で運動を取り入れたりして、意図的に体力づくりを行ってきました。

4 学校は、確かな学力育成のため、3年生以上に教科担任制を先進的に導入しており、児童にとって効果的な指導となっている。



A 42.7 B 55.4 C 1.3 D 0.6

・記述なし

◎年度途中から、2年生にも一部分導入しました。教員の専門性を生かした指導、多くの大人が関わり寄り添うこと、多くの目で子どもたちを見ること、これらはとても大切なことだと考えています。

5 学校は、家庭学習の力を付けるため、学力アッププログラム、宿題などを活用し、効果的に指導している。



A 17.2 B 73.9 C 7.6 D 1.3

・宿題に関しては、同じスキルやドリルを使っているにも関わらず、担任の裁量で量も質も異なっているので、学年で歩調をあわせるなど配慮していただくとさらなる学力の定着につながると思います。主任が学年の先生にひと声かけるなど。スキルやドリルの繰り返し学習も学力向上につながると思います。最低2回はやるなど決めていただいて通信などで連絡いただけるとやりきらせるよう家庭でも声かけやすいです。頑張った日でも適当な日でも同じハンコやサインだけではなく、たまに頑張った日には一言か大きな丸や花丸がいただけるとやる気も増すかと思えます。

・宿題 5年生の宿題は主に自学が多いですが、具体的にどこをやってくるなど指導して欲しいです。

・宿題がなくなると、親も子どもを重点的に勉強したらいいかわからない。塾に通っていない子のためにも宿題を出して欲しいです。

◎「宿題」に関しては、毎年、「出してほしい」、「必要ない」と、保護者の皆さんの意見が異なるのが現状です。学校としては、子どもたちの学力の定着には家庭学習は必要であり、何より学習習慣の定着、自ら学ぶという姿勢づくりが大切だと考え、家庭学習に関する検討を重ねているところです。

◎「家庭学習」は、基本的には各ご家庭での指導です。学校でも指導はしていきますが、全てを指導・管理することはできません。主体は各ご家庭であることについて、確認をお願いしたいと思います。

◎「自学」の是非についても、検討を重ねているところです。しかし、やらされる学習では本来の学力には至らないことから、小学校段階で自ら考え計画し学ぶ力を付けていきたいと考えています。

「自学」の仕方については、各教科や担任から何度も指導はしていますが、今後も工夫し指導していきます。評価や励ましについては、おっしゃる通りだと思い職員に周知します。

6 学校は、読書習慣を育成するための指導を効果的に行っている。

・記述なし



A 21.0 B 71.3 C 7.0 D 0.6

◎PTA家庭教育委員会による読み聞かせや、児童会図書委員会による図書館祭りなどの取組、授業時間内での定期的な貸し出し、図書司書によるブックトークなど、読書習慣の育成には力を入れているところです。本好きな子は毎日のように図書室に通い、貸し出し冊数は多い方だと考えています。しかし調査によって分かってきたのは、家庭での読書時間が全国平均を下回っているということです。特に土日の読書時間は非常に少なく、高学年になるほどその傾向は顕著です。ネットやゲームなど、デジタル視聴が大きく影響していると考えています。読書指導だけでは改善は難しいと考え、自分の生活を自ら正していけるよう、自分づくりノートの活用や情報教育などの充実を図っています。